

楓通信 . 110



日光湯元ビジターセンター
奥日光の情報誌 No.110
2014. 3. 25

年6回発行・一冊100円
年間購読料1000円(送料・税込み)

年間購読のお申込みは、氏名・住所・電話番号を明記の上、
郵便振替にて自然公園財団宛に購読料をお支払いください。
(年途中からでもどうぞ!) 振替 No. 00370-3-7232

一般財団法人 自然公園財団 日光支部
〒321-1662 栃木県日光市湯元 日光湯元ビジターセンター内
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378
<http://www.bes.or.jp/nikko/vc/>

Life

~ライフ~

ヤマアカガエル編

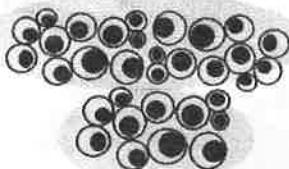
その名のとおり山地に多い「ヤマアカガエル」。奥日光でもよく見かけます。

今回はそんな「ヤマアカガエル」が1年を通してどんな暮らしをしているのかのぞき見してみます！

※あくまで時季は目安です。

卵

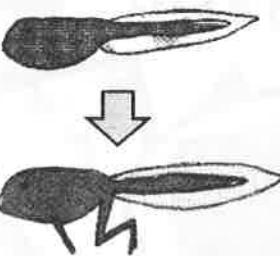
一匹のメスが産卵する卵の数は1000個以上。
粘着性のある寒天状の物質に包まれている。
水の流れがない池などに産む。



★豆知識★
冷え込みが激しいと、卵が
凍ってしまうこともあるよ！

奥日光目撃場所：戦場ヶ原・湯元・光徳沼

オタマジャクシ



手足が生えだす。
落ち葉や水草、水生昆虫
などを食べる。

★豆知識★
奥日光では気温が低いため、
水温も低くなる。水温が低いと、
オタマジャクシの期間が
長くなることがあるよ！

奥日光目撃場所：戦場ヶ原・湯元・光徳沼

冬眠

土の中



or

水の中



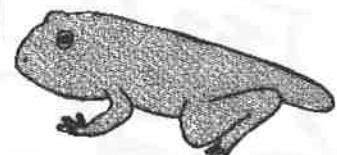
土の中、または水の中で
冬眠する。

★豆知識★
卵を産み終わってから、
もう一度眠る（春眠しんみん）
こともあるよ。



幼生

手足が生え、カエルの形へと
近づく。だんだんと尻尾がなくなり、
水中での生活から陸上での
生活へと移行する。



奥日光目撃場所：戦場ヶ原
湯元・光徳沼

幼体・成体

オスよりメスの方が
体が大きい。
ニャンニヤニャニャ
と鳴く。
昆虫や貝類、ミミズ
などを食べる。



奥日光目撃場所：戦場ヶ原・湯元・光徳沼・
小田代原

奥日光では、今回紹介した
「ヤマアカガエル」の他にも、
「アスマヒキガエル」
「ニホンアカガエル」
「モリアオガエル」
など、たくさんのかエルを
見ることができます。
みなさんもその季節にしか
見られない姿の生き物を
探してみてください！

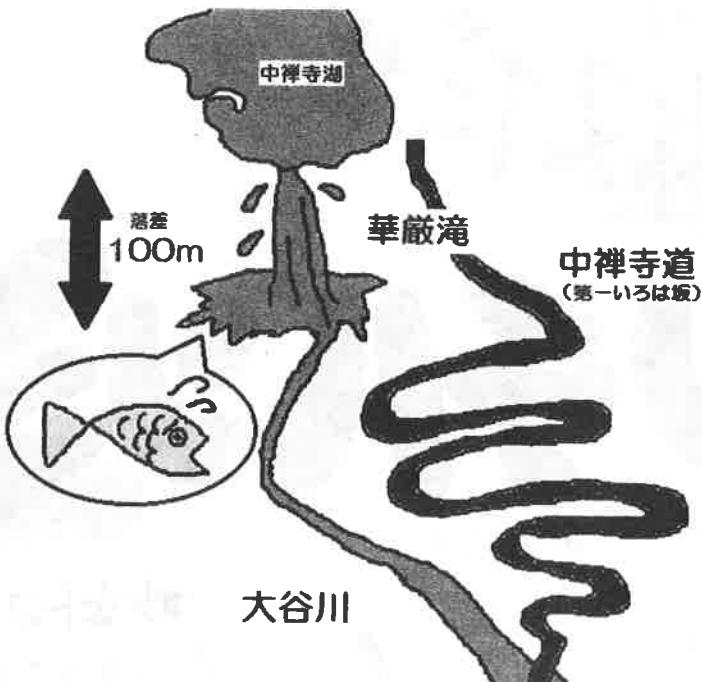
奥日光に棲む魚

昔、奥日光に魚は棲んでいませんでした。なぜなら、ふもとを流れる大谷川と奥日光の同じく落差が約100mある華厳の滝があり、魚がのぼってこられなかつたからです。

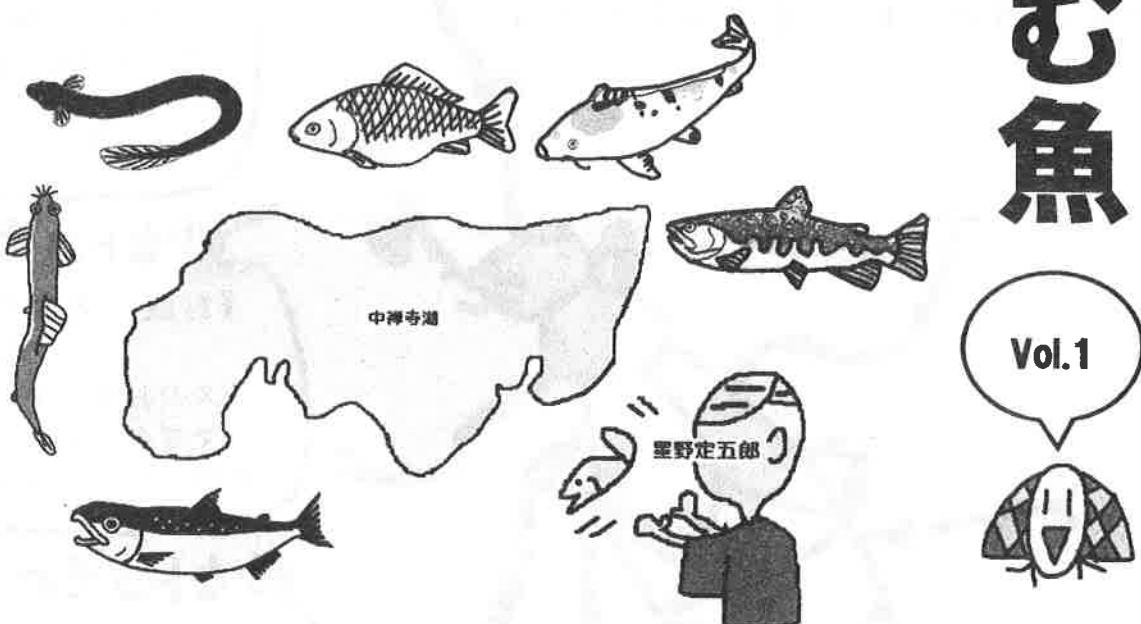


では一体、今いる奥日光の魚はどうからやつてきたのでしょうか？

それは、今から約一四〇年前…。



明治6年、日光山麓に住む星野定五郎が、華厳滝下流のイワナ数百尾を中禅寺湖に放流したのをきっかけに、奥日光に魚が棲むようになりました。定五郎がイワナを放流後、地元の有志によりコイ、フナ、ウナギ、ドジョウ、マス、サケ等が中禅寺湖に放流されました。



水があるのに魚がないのは仏様(注2)がいらっしゃったから、または、水が冷たすぎて生まれる魚がいなかったからと言われていたが、私は魚を放流する事に決めた。すると放流に反対する人たちに色々と邪魔をされたが、反対する人の声を振り切って、二荒山神社の前宮司の戸田忠友さんに相談した。すると『試して見なさい。』と仰ってお金をくださいました。そのお金を使って中禅寺湖に魚を放流したらお金が余ったので、湯ノ湖に放流する魚も買った。二つの湖とも魚はよく育ったよ。後世、長く未来までこの事を伝えたい。

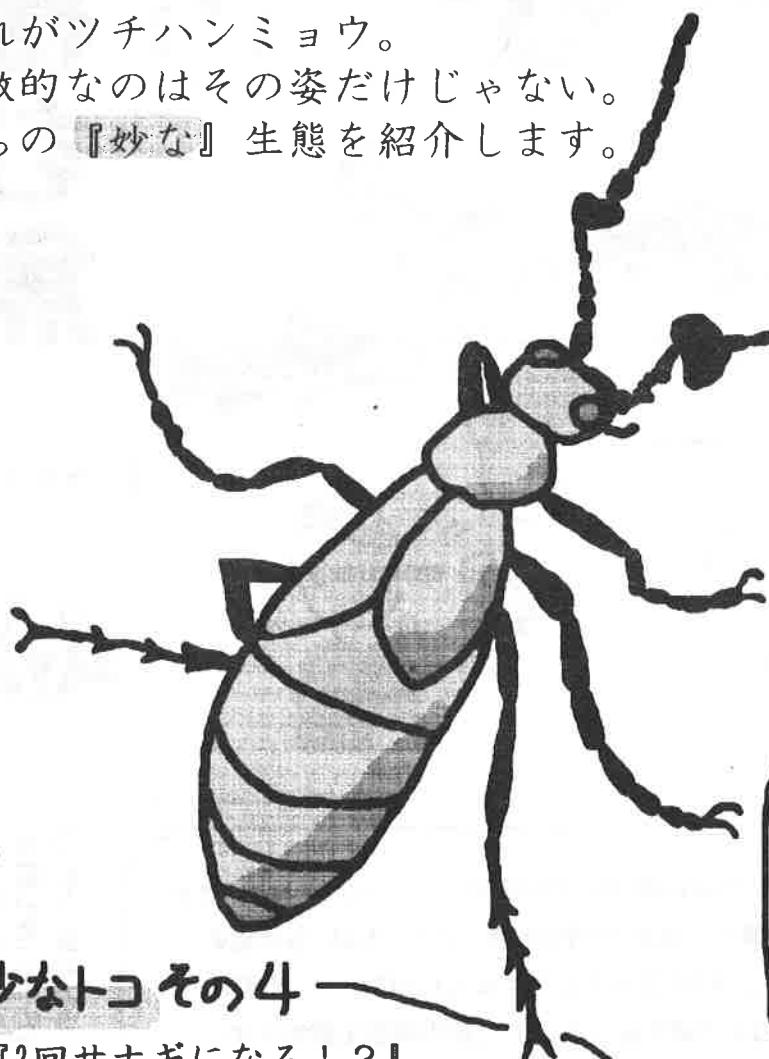
二荒山神社にある碑石によると、宗教的戒律(注1)を解いた二荒山神社の宮司の柿沼広身は魚の放流について、次のように言っていたそうです。

注1 宗教的靈地として穀生を禁じていたこと。

注2 現在、中宮祠にある二荒山神社の境内には、むかし立木銀壇があった。明治35年に男体山の蓮崩壇(銀音蓮)で銀音堂が流されるまで、神様と仏様はあまり区別されていなかった。

やつ せいか ツチハンミョウ

奥日光の森の中でときどき出会える
不思議な昆虫
それがツチハンミョウ。
特徴的なのはその姿だけじゃない。
彼らの『妙な』生態を紹介します。



妙なトコその4

『2回サナギになる！？』

ツチハンミョウの幼虫は、脱皮をするたびに大きく姿が変わります。特に面白いのは、偽蛹(ぎよう)と本当の蛹(さなぎ)と蛹のような時期が2回あるということです。このことを発見したのは、かの有名なアンリ・ファーブル先生。『昆虫記』にもツチハンミョウのお話が登場します。興味があれば読んでみよう！(P.10参照)

妙なトコその1

『危険な毒を持っている』
体の中にカンタリジンという有毒成分を持っています。致死量30mgの猛毒で、昔は暗殺の道具や、薄めることで漢方薬にも使われていたそうです。

妙なトコその2

『お腹に大量のタマゴが詰まっている』
メスのお腹の中には数千個ものタマゴが詰まっていて、それを数回にわけて産卵します。

妙なトコその3

『サバイバルな幼虫時代』
ツチハンミョウの幼虫はスジハナバチの巣に寄生して育ちます。しかし、幼虫が巣にたどり着くまでにはたくさんの試練が待っています。生き残ることができるのは、宝くじに当たるくらいの確率？

奥日光で観察するなら…

ツチハンミョウは湯元温泉から中禅寺湖畔までのほぼ全域に生息しています。落ち葉の積もった森の中で、地面の上を歩いているから、きみも探してみよう。

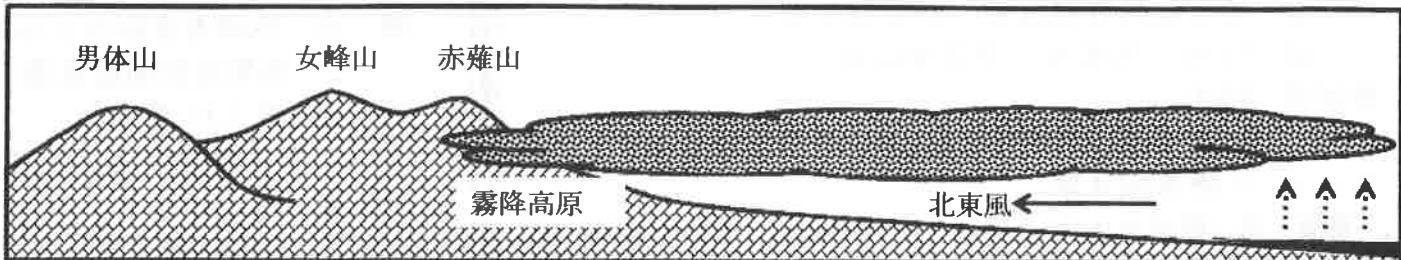


妙なトコその1でも解説したようにカンタリジンという毒をもっているので、眺めるだけにしておこう。

■霧降高原はなぜ霧が多い？

霧降高原は読んで字のごとく、霧が多いところです。自然公園財団では、昨年4月から「日光市霧降高原キスゲ平園地」の指定管理者となりました。スタッフが常駐するようになり、霧降高原の気象を身近に感じるようになりましたが、6月から7月にかけては、ほとんど毎日と言ってよいほど深い霧に包まれました。湯元では霧の日は1年に数日しかありませんが、この違いはどこにあるのでしょうか。

霧降高原に霧が多く発生するのは、その地形と位置に要因があります。霧降高原は女峰山の東の中腹にあります。これより東側には高い山がありません。梅雨時期には関東地方の東の海上で冷たい北東の風が吹き、暖かい海面から水蒸気が供給されて雲が発生します。この雲はそのまま北東風に乗って関東平野に流れ込んでいます。そして日光連山につき当たります。雲の底の高さは、およそ標高800メートルくらいですので、1200メートル以上ある霧降高原はすっぽり雲の中に入ってしまい、濃い霧に包れます。

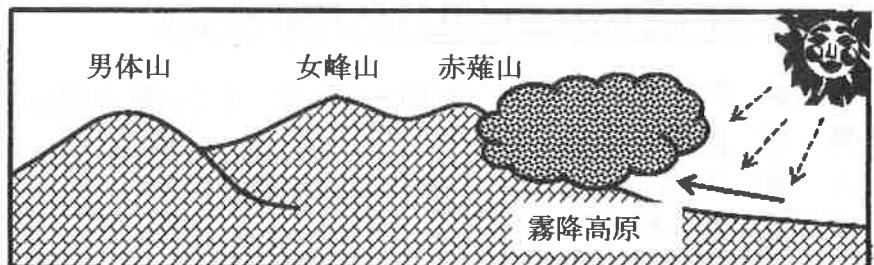


この雲は高さがあまりないため、女峰山や男体山を超えることはありません。このため霧降高原が霧に包まれているときでも、湯元や戦場ヶ原など奥日光では晴れていることがよくあります。

なお、この季節には1000から1200メートルの高さに気温の逆転層ができ、雲の高さが逆転層のところで抑えられてしまうことがあります。このようなときには、上空は青空で、霧降高原からは見事な雲海を見ることができます。

夏の霧と雷

盛夏の頃も、朝晴れても午後になるとよく霧が発生しますが、その原因は少し違います。炎暑にあえぐようなとき、関東平野には南東の風が吹きます。これは海風のようなものです。この海風が日光連山まで来ると、谷風と相まって、山の斜面に沿って上昇します。これに加えて、強い日差しで熱せられた山の斜面からは上昇気流が発生します。空気が上昇して冷やされると雲が発生します。このようにして、真夏の午後には雲が発生しやすく、霧降高原は霧に包れます。



気を付けなければならないのは、上空に寒気があるとき、この雲は高く発達して雷雲になることです。霧降高原の雷は、雷雲が他の場所から移動していくのではなく、その場で発生することが多いため、霧の中で突然雷鳴が響きわたり大粒の雨が降ってくることがあるので要注意です。昨年の夏も、このような突然の雷が何度かありました。

■奥日光の気象情報

■2013年の平均気温・湯元

	5月	6月
最高気温	20.2°C	20.0°C
最低気温	4.3°C	7.5°C

※自然公園財団日光支部
公園班の記録より

■2014年 日の出日の入り（宇都宮）

	5/1	6/1
日の出	4:48	4:24
日の入	18:28	18:53

※国立天文台ホームページより

■天文情報

	5月	6月
満月	15日	13日
新月	29日	27日
5/6 みずがめ座 ハイーグ流星群が極大		
6/28 うしかい座流星群が極大		

※国立天文台ホームページより

日光湯元ビジターセンター

2014年 5月・6月の催し

☆短時間だけどゆったり散策

つつじハイク

～中禅寺湖北岸～



日 時：6月1日(日) 10:00～15:00 (9:30受付開始)

集 合：魚と森の観察園前 無料駐車場

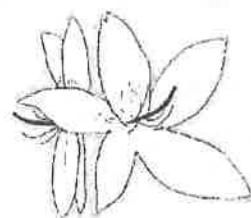
人 数：15名（先着順／中学生以上）

参加費：¥500

（別途、中禅寺湖機船料金370円がかかります）

コース：中禅寺湖北岸

菖蒲ヶ浜（竜頭滝）→千手ヶ浜～中禅寺機船（千手～菖蒲ヶ浜）



春の木漏れ日の中、
お花たちを愛でます。

☆きのこの山の探検隊

日 時：6月21日(土) 9:00～15:30 (8:30受付開始)

集 合：赤沼駐車場

人 数：15名（先着順／小学生は保護者同伴）

参加費：大人¥1,000

小中学生¥500

コース：赤沼～高山（往復）



シリーズ第2弾、今回は幻の
「きのこの女王」を探します。

☆3時間のお手軽ウォーキング

～湯ノ湖・湯滝へ行ってみよう～

日 時：5月24日(土) 13:00～16:00 (12:30受付開始)

集 合：日光湯元ビジターセンター（予定）

人 数：15名（先着順／小学生は保護者同伴）

参加費：¥500 ※12:50受付厳守

～戦場ヶ原へ行ってみよう～

日 時：6月8日(日) 9:00～12:00 (8:30受付開始)

集 合：日光湯元ビジターセンター（予定）

人 数：15名（先着順／小学生は保護者同伴）

参加費：¥500 ※8:50受付厳守

※集合場所などの詳細は変更される場合があります。

タイトルに☆印あるのイベントは、

2014/4/1(火)より受付開始です。

定員になり次第、締め切ります。また、実施日の1週間前に受付終了となります。

その時点で最低催行人数5名に達しない場合は、中止となる場合がございます。

ただし、申込み締切り日以降でも、定員に達していない場合は受付けておりますので、お問合せください。

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
						昼散策
4	5	6	7	8	9	10
昼散策	昼散策	昼散策				
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
						☆湯ノ湖・湯滝 へ行ってみよう
25	26	27	28	29	30	31

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
☆つつじハイク						
8	9	10	11	12	13	14
☆戦場ヶ原へ 行ってみよう						
15	16	17	18	19	20	21
☆中禅寺湖で カヌー体験						☆きのこの山の 探検隊
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

開館時間

5・6月

9:00～16:30

一般財団法人自然公園財団日光支部

環境省 日光湯元ビジターセンター

〒321-1662 栃木県日光市湯元

TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

<http://www.bes.or.jp/nikko/vc/>

■イベント報告

【やってみようスノーシュー】

開催日	1/26	2/1	2/8	2/23	3/1
参加者数	14名	11名	7名	9名	16名

2月23日(土) 参加者9名

朝から空は気持ちの良い快晴！好天に恵まれてスタートしたこの日のやってみようスノーシュー。今回は、はじめてスノーシューを体験する方々を対象とした初級編でした。そこで、距離を歩くことよりも雪の中の楽しみ方をたくさん知ってもらうために、ゲームをしたり、動物たちのあしあとを追いかけてみたり、地面に届くまで雪を掘ってみたり、湖畔から水鳥を眺めてみたりと、楽しんで頂きました。今回のイベントでスノーシューの魅力を感じてもらえたなら、ガイドとしてはとてもうれしく思います。奥日光の森にはまだまだ素晴らしいフィールドがたくさんあります。「もっとスノーシューを楽しみたい！」という方、次回もワクワクする企画を準備しますので、また冬の奥日光へ遊びにいらして下さいね。



【チャレンジスノーシュー】

開催日	1/25	2/11
参加者数	14名	15名

1月25日(土) 参加者14名

やってみようスノーシューから一步先へ進んだ内容のこのイベント。「チャレンジ」との事で、今回は冬にしか行けない蓼ノ湖へ、挑みました。蓼ノ湖までの道は急な坂道を上ったり下ったりと、スノーシューでのチャレンジは続きます。しかし険しい道の中でも、参加者のみなさんはチャレンジ精神旺盛な方たちばかり。「坂道なんてなんのその！」スタッフに負けない勢いでガシガシと進んでいきました。

着いた先是白銀の世界！蓼ノ湖は結氷しており、湖の上も真っ白！そんな中、和気あいあいとする皆さんの姿にスタッフもほっと一安心…。湖畔では雪上を歩く虫を見つけました。

帰りには、最後のチャレンジ、急斜面での雪上お尻すべり！大人の方は童心に返って急斜面を一気に駆け上がり、子どもたちは加速するスピードにさらにはしゃぎ、皆さんのテンションはこの日最高潮に！他にも動物の足跡を追ってその動物は何をしていたか考えてみたりなど、新しい発見や出会いもたくさんあり、暖かい陽気のなか終始笑顔のたえない一日になりました。

ご参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。またスノーシューを使って奥日光の冬に挑みましょうね！

【クロカンハイキング】

2月2日（日） 参加者16名

当日の天気予報では雨？のち晴！となっていた奥日光。朝、三本松園地に集合した時も小雨が降っていました。身体を動かすハイキングでもやや寒く感じる1日になるのかな？と思いつつ、ハイキングには暑過ぎると感じるほど、とても暖かい日。やはり、皆様の日頃の行ないの素晴らしい天気に繁栄したではないでしょうか！

午前中、三本松園地で少し練習をしただけで、午後には皆様スイ～スイ～滑れるようになっていました。三本松～光徳と少しハードなコースを選んでしまったのですが、クロスカントリースキーの楽しみ方を思う存分味わっていただけたのではないでしょうか？

ご参加頂きました皆様のお陰で、私たちにとっても忘れられないイベントになりました。本当にありがとうございました。ぜひまた奥日光にいらして下さいね！

【がむしやら雪あそび with ソリ2014】

2月9日（日） 参加者11名

ソチオリンピックが開幕し盛り上がりをみせる中、湯元でもがむしやら雪あそびこと「ソリンピック」が開幕！前日の大雪でふかふか雪にまみれながら、ソリを使った競技で熱い戦いが繰り広げられました。今年も走る、走る、バテる。それでも、滑る、滑る、またバテる。だけどやっぱり滑る＆走る！！

今年もがむしやらに雪で・そりで遊びまくりました。そして、今年も森のホテルさんの御協力で暖かい昼食と、イベント終了後に温泉のおもてなしを頂きました。ありがとうございました。

参加者の皆様は、今年は何色のメダルがGETできたかな？また来年もがむしやらに遊びましょう。



【アニマルトラッキング】

2月22日（土） 参加者8名

晴れた日でも、まだまだ0℃以下の気温が多い、2月の奥日光。しかし、この日は1日晴れ模様で、風も比較的弱くて散策日和でした。今回散策した金精の森コースは、湯元周辺のスノーシューコースの中でも1番森らしさを味わえるコースです。

観察できた動物の足跡はリス、キツネ、シカとちょっと種類は少なめでしたが、普段よりもリスがず～っと歩き回っていたのを観察できました。足跡から冬の奥日光に生きる動物の行動を想像して頂けたのではないか？

本当にありがとうございました。ぜひまた奥日光にいらして下さいね！

【厳冬季の刈込湖へ挑む！！SINCE1997】

3月2日（日） 参加者18名

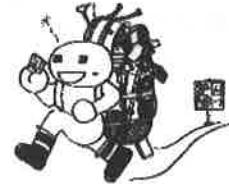
1997年から続いている伝統のイベントだが、ここ2年は震災の影響などもあり中止が続き、催行できるか不安だった。心配だった天気も、雪は降っているが、風もなく寒すぎることもなく、無事に催行することができた。降り続く雪が木々に積もり、森が純白のドレスに身を包み、我々を迎えてくれた。

今回は「みんなでとん汁を作る」という初の試みで、とん汁の具材をめぐり、途中でゲームを行い、勝者がリッチなランチを味わえるという条件にした。3チームに分かれ、ゲームで争ったのだが、皆さん必死・必死・必死！そんな必死な思いでGETし、作ったとん汁の味は最高でした☆最後は、恒例の「お願刈込湖」でみんなでお願いをし、無事終了。

また来年の冬、みんなで行くから待っててね、刈込湖♪参加して下さった皆様、そして私たちを受け入れてくれた自然に感謝・感謝の1日でした。

■スタッフお別れの言葉

今年度でビジターセンターを巣立つスタッフ達より、ご挨拶申し上げます。



【ビジター班 青木佑磨】

あつという間に過ぎ去った2年間、とても短い期間でしたが毎日充実した日々を過ごせたなと感じております。奥日光は勿論のこと栃木県を訪れるのも初めての若輩者が、奥日光の自然について、センターやイベント・ガイド等で「自然解説員」と銘打って皆様の前に立たせて頂きましたが、いかがでしたか？！拙い解説だったかもしれません、私の携わった一時が、皆様にとって「自然っていいなあ」と感じて頂けましたら幸いです。

奥日光湯元温泉で暮らしながらその土地を見て、聞いて、触れて、嗅いで、味わって、学び得たものは、私の自然感を広めより豊かなものにしてくれました。ここで得たものは、決して失いたくない人生の1つとなっています。

そう強く思ってくれたものは周囲の自然環境もそうですが、奥日光湯元温泉地域に携わる皆様が、私に温かく接し、受け入れて下さったからです。勿論それはこれまでの日光湯元ビジターセンタースタッフの功績が大きい事も感じています。少ない機会でしかお逢いできなかつた方々にも顔を覚えて頂けたこと、気さくに言葉をかけて下さったことがとても嬉しかったです。これから自分の育った故郷の山梨県にもどり生きていく上で、何を大切にしていくべきかを実感させて頂いたようです。そのすべてに感謝しています。

最後に私がいつも心がけていたものをお紹介いたします。

自然と人と剣道とそれを繋ぐこと。それは身近な環境・家族・志を護るためにあること。これに奥日光で学んだことをさらに付け足すとすれば、「そこには感謝し合う気持ちが伝わっていること」でしょうか！それでは、さよならは言いません、どこかでお逢いできましたら幸いです。

ありがとうございました。

11ページへ続く…

■スタッフコラム

このコーナーは、毎号違うスタッフが思い思いに書いていきます。今回の担当は、緒方光明。

私は小さな頃から自然大好き昆虫少年でした。そんな私の幼少からの愛読書は『ファーブル昆虫記』です。この本の著者は、「昆虫観察と言えばファーブル」と言われる（？）ほど有名なフランスの昆虫研究家のジャン＝アンリ・カジミール・ファーブル（1823-1915）です。『昆虫記』の中では、スカラベ（ふんころがし）や狩りバチ、オトシブミ、セミ、カマキリ、ヤママユなどなど、たくさんの昆虫たちが登場します。

ファーブル先生は、南フランスの恵まれた環境の中で昆虫達の暮らしを観察しました。「自分の眼で見たものしか信じない！」という根っからの研究者氣質だったファーブル先生は、浮かんできた素朴な疑問を解決するために多くの実験を行いました。そんなファーブル先生の研究の中でも、特に面白いのがP4にもあるツチハニミョウに関するお話です。ファーブル先生は何年もかけてこの昆虫を観察するのですが、その過程では、何度も失敗したり、勘違いをしていたりで、試行錯誤を繰り返します。しかし、ファーブル先生の諦めないで挑戦する姿には読んでいてとても励されます。

『ファーブル昆虫記』には児童書から大人向けの完訳版まで様々ありますが、その中でも特に私がおすすめするのは、集英社から奥本大三郎訳『ジュニア版ファーブル昆虫記』です。分かりやすい文章と注釈・イラストで昆虫記の世界を気軽に楽しむことができます。気になった方はぜひ探してみて下さいね。

スタッフお別れの言葉続き…

【シカ班 古川温子】

私は1、2年目をビジターブラフ、3、4年目をシカ班として4年間、業務を行ってきました。

ビジターブラフ時代、自然情報の収集と提供や、自然解説、国立公園の管理など、人と関わることの多い業務を通して得たものは、「出会い」でした。まず一つ目の出会いは、森林、湿原、草原、湖や滝や川など様々な環境がひとつの土地に存在する奥日光の自然。四季によってまるで違う姿を見せる景色や植物、活き活きと生きる野生動物たちの美しさに魅了されてしまい、この環境で暮らすことが大好きになりました。2つ目は、奥日光に関わる人たちとの出会いです。職場の仲間、奥日光の自然を守るために活動する環境省やパークボランティアをはじめとする関係者の方々、日々の生活で暖かく接してくれる地元の皆さん、奥日光に訪ってくれるお客様たち、それこそが私にとって大きな財産となりました。

シカ班時代は、戦場ヶ原のシカ侵入防止柵の巡回や管理などの肉体労働を中心であり、シカの調査など専門性も問われる業務でした。女性初のシカ班として「やはり女性では出来ない…」という結果にはならないよう、当初はプレッシャーを感じていました。また、シカ班を希望した私にチャンスを与えて下さった期待にも応えなければと、業務をこなすことに必死の毎日でした。しかし今では、以前と比べ物にならないほどの体力と筋力と根性が身に付きました。おかげ様で（？）、力仕事の際には「男手」の数に加えられるように…。こうして2年間続けてこられたのは、自分の力ではなく、職場の仲間や関係者、周囲の人たちの協力や支えがあったからでした。何かの物事を成し遂げるたびに、そのことを今でも心底実感し、感謝しています。

この4年間、私は長いと感じたことはなく、本当にあつという間に終わってしまいました。泣いて辛かった時も、仲間と大笑いをして楽しかった日も、ハプニングの連続に慌てたり怒ったりした日々も、とても充実していました。日光へ来た当初の不安で心細かった私よりもずっと成長できたと思います。それも関わった皆さんと毎日を過ごすことができたからだと思います。

私は4月より福島県へ移り、野生動物に携わる仕事に就きます。日光で得た知識や経験は、次の職場で必ず活かすことができると思います。

4年間、お世話になった全ての皆様へ、心から感謝をこめて、ありがとうございました！



■ニュース

【奥日光湯元温泉雪まつり2014 「氷の彫刻」「雪灯里」終了】

奥日光湯元温泉雪まつり2014が終了しました。今年も「氷の彫刻」や「雪灯里」などのイベントを行い、たくさんの方が湯元まで足を運んでくださいました。途中、氷の彫刻が溶けてしまったり、雪灯里の会場が大雪の影響により埋まってしまうなどのハプニングはあったものの、冬ならではのイベントを楽しんでもらえたのではないでしょうか。



【2月14日からの大雪の影響】

2月14日から15日にかけて奥日光でも記録的な大雪となりました。15日朝からいろは坂が通行止めとなつたため、日光湯元・中宮祠は一時孤立状態となりました。湯元の旅館に泊まっていた方は帰る事ができず、とても大変な状態でしたが、17日にはいろは坂の通行止めも解除され、無事帰宅されました。

春といつても奥日光の路面状況は安定しておりません。お出かけの際は、最新情報を入手し安全に留意していらして下さい。

■歩道情報

場所	状況	問合せ先
中禅寺湖一周		
小田代原～赤沼		
湯滝～泉門池	雪解けの木道は大変滑りやすいので、ご注意ください。尚、コースアウトは禁止されておりますので、ご協力をお願いします。	栃木県県西環境森林事務所 【0288-21-1178】
戦場ヶ原		
湯ノ湖一周	積雪のため、山側歩道と、道路側歩道の一部通行止めです。開通は雪解け後になります。	日光自然環境事務所 【0288-54-1076】
男体山	H25.10/25～H26.5/4まで閉山	二荒山神社中宮祠 【0288-55-0017】
その他の山	最寄の警察署・ご家族・ご友人に登山届を提出し、十分ご注意の上、お出かけください。	栃木県警察本部地域部地域課 【0286-21-0110】



■交通情報

◆道路の開通予定◆

道路	開通予定	問合せ先
中宮祠足尾線 (旧中禅寺湖スカイライン)	4/14～	栃木県日光土木事務所 【0288-53-1211】
金精道路	4/25正午～	
山王林道(奥鬼怒林道)	4/下旬～	栃木県県西環境森林事務所 【0288-21-1178】

◆各種交通機関の営業期間◆

交通機関	営業予定	問合せ先
低公害バス	4/26～11/30	日光自然博物館 【0288-55-0880】
東武バス	夏季ダイヤになります 4/1～11/30	東武バス日光営業所 【0288-54-1138】
日光白根山ロープウェー	5月GW期間中と 6/1～11/11 ※運営期間中点検日あり	丸沼高原総合案内 【0278-58-2211】
中禅寺湖遊覧船	4/13～11/30	船の駅中禅寺 【0288-55-0360】

■各施設情報

場所	営業予定	問合せ先
赤沼情報センター	4/26～11/30	日光自然博物館 【0288-55-0880】
イタリア大使館 別荘記念公園	4/1～11/30	イタリア大使館別荘記念公園 【0288-55-0388】 日光自然博物館 【0288-55-0880】
中禅寺湖畔ボートハウス	4/1～11/30	日光自然博物館 【0288-55-0880】
さかなと森の観察園	3/20～11/30	独立行政法人水産総合研究センター 増養殖研究所 日光舎 【0288-55-0055】
日光湯元レストハウス	4/中旬～11/30	日光湯元レストハウス 【0288-62-2156】
無料休憩所(湯元)	4月上旬～11/30	日光湯元ビジターセンター 【0288-62-2321】
あんよの湯(足湯)	4/19～12/中旬	

■トイレ情報

※奥日光では、冬の間、利用できないトイレがあります。

◆閉鎖解除時期◆

トイレ	閉鎖解除時期(予定)
二荒山神社東側	
西六番園地	4/1~
イタリア大使館	
赤沼情報センター	
小田代原	
千手ヶ浜	4/26~
華厳滝第一トイレ (自然博付近)	
歌ヶ浜 明智平	4/上旬~
湯滝	4/中旬~
湯ノ湖畔	
休暇村前トイレ	
ビジターセンター前	4/1~



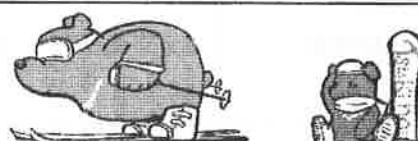
※上記の日程は目安です。雪の状況などによって変動します。

■キャンプ情報

キャンプ場	運営期間	問合せ先
湯元キャンプ場	5/中旬~10/31 ※営業開始に関しては、炊事場水道の凍結が解消され次第となります。 詳しくはホームページ等でお知らせします。	日光湯元ビジターセンター 【0288-62-2321】
菖蒲ヶ浜キャンプ場	5/1~10/19	奥日光林産興業(有) 【0288-55-0158】
菅沼キャンプ場	5/1~10/19	菅沼キャンプ村東京案内所 【03-3542-8441】 現地 【0278-58-2958】
丸沼オートキャンプ場	6/14~10/13	丸沼高原総合案内 【0278-58-2211】

■スキー情報

※雪の状況により、クローズ日に若干の変動があります。



スキー場	営業期間(予定)	問合せ先
丸沼高原	~5/6	丸沼高原総合案内 【0278-58-2211】

■日光の催し(5月~6月)

日付	催し物	時間	場所	問合せ先
5/5(月)	男体山開山祭	10:00~	二荒山神社中宮祠	二荒山神社中宮祠 【0288-55-0017】
5/28(土)	荒沢不動尊縁日	11:00~	裏見滝	興雲律院 【0288-54-0260】

■お知らせ

【楓発行日・イベント参加申込開始日 変更】

今まででは奇数月の月末に発行していましたが、今号から奇数月の25日へ変更になります。また、それに伴ってイベント参加申込開始日も偶数月第2週土曜日でしたが、偶数月の1日へと変更になります。また、4月1日から消費税が8%となりますが、楓通信の値段は変更ありません。

今後とも楓通信をよろしくお願ひします。

【平成26年4月～増税後の料金変更について】

施設	運営期間	増税後料金	問合せ先
菅沼キャンプ場	5/1～	6人用バンガロー ¥8,640～ (7/1～8/25 ¥10,800～)	菅沼キャンプ村東京案内所 【03-3542-8441】 現地 【0278-58-2958】
丸沼オートキャンプ場	6/14～10/20 ※営業日は要問合せ	大人¥800 子ども¥400 車一台4,200～	丸沼高原総合案内 【0278-58-2211】
明智平ロープウェー	(3/1～3/15 運休)	大人¥730 子ども¥370	明智平ロープウェー 【0288-55-0331】
丸沼ロープウェー	要問合せ	(片道) 大人¥1,100 子ども¥600 (往復) 大人¥2,000 子ども¥1,000	丸沼高原総合案内 【0278-58-2211】
華厳滝エレベーター	年中無休	(往復) 大人¥550 子ども¥330	華厳滝エレベーター 【0288-55-0030】
中禅寺湖機船	4/12～11/30	(一周) 大人¥1,250 子ども¥630 ※コース別料金	東武興業株式会社 中禅寺湖機船 【0288-55-0360】
自然博物館	月曜定休日	(個人) 大人¥510 子ども¥200 (団体) 料金据置	日光自然博物館 【0288-55-0880】
低公害バス	要問合せ	¥300	日光自然博物館 【0288-55-0880】
湯滝駐車場	4/下旬～12/上旬	バイク ¥200 乗用車 ¥500 マイクロバス ¥1,000 大型バス ¥2,000	自然公園財団 日光支部 【0288-62-2461】

■編集長より



次号は
5月25日
発行予定です

今回の楓通信110号より新編集長になりました太田です。これからよろしくお願ひします。
最近の奥日光はまだまだ「冬」といった様子。ですが、徐々に春に向けて気温は高くなってきました。
これから4月に入ると雪解けも始まり本格的な「春」の始まりになるでしょう。「春」の奥日光を楽しみ
にいらしてくださいね！（太田）

短時間だけゆったり散策

つつじハイク

～中禅寺湖北岸～

日時

H26/6/1 (日)
10:00～15:00

(受付開始9:30～)

*3～4時間程度の
短時間の散策です。

集合場所：魚と森の観察園前 無料駐車場

コース：中禅寺湖北岸

菖蒲ヶ浜（竜頭滝）→千手ヶ浜～中禅寺湖機船（千手～菖蒲ヶ浜）

募集：15名（先着順／中学生以上）

参加費：500円

*別途、中禅寺湖機船料金（370円程度）がかかります。

*お申込いただいた方には、後日詳しい要項をお送りいたします。

お問合せ・お申込み

環境省 日光湯元ビジターセンター

管理者：一般財団法人自然公園財団日光支部

(担当：太田)

TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

電話・FAXにて次の事項を上記までお知らせ下さい。

*平成26年4月1日（火）より受付開始

- ①イベント名 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤住所 ⑥電話番号（当日連絡がつくもの）
⑦集合場所までの交通手段 ⑧この催しを何でお知りになったか ⑨前・後泊の有無

3時間のお手軽ウォーキング

—湯ノ湖・湯滝へ行ってみよう—

この時季見頃のシャクナゲを見てみよう！

日 時：平成26年5月24日（土）

13:00～16:00

（受付時間 12:30～12:50）

集合場所：日光湯元ビジターセンター

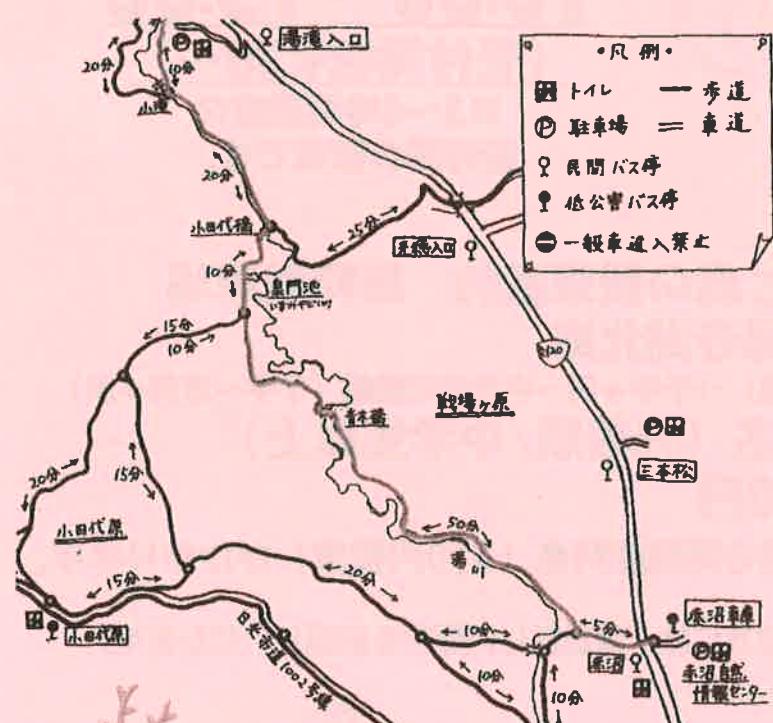
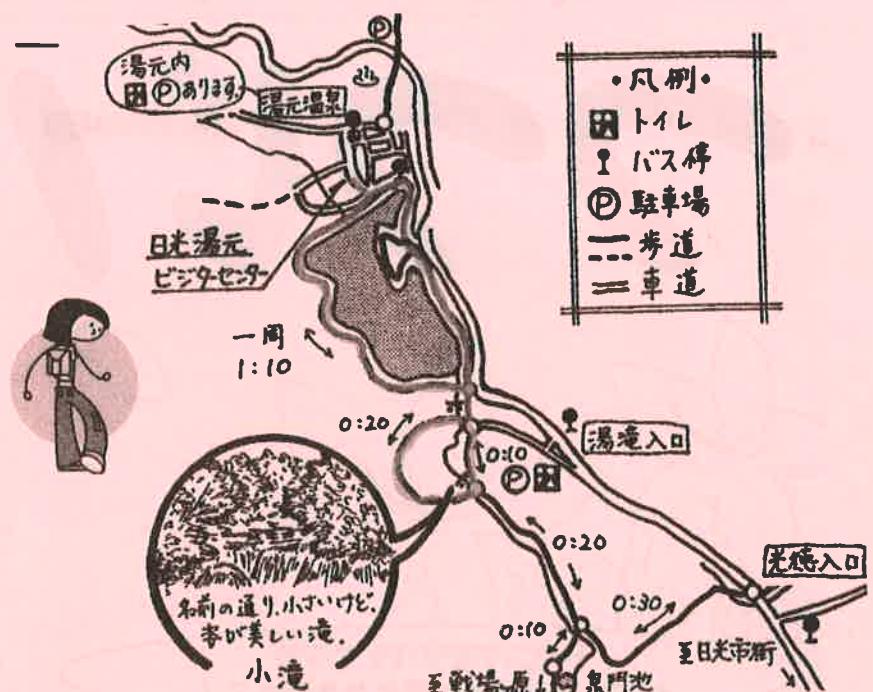
コース：湯ノ湖→湯滝→小滝→湯ノ湖

募集 集：15名（先着順）／どなたでも

参加条件：当日に運動靴、レインウェア、
飲み物を持参できる方。

参加費：500円

※12:50までに受付厳守でお願い致します。



—戦場ヶ原へ行ってみよう—

ズミ・ワタスゲを見ながら歩いてみませんか？！

日 時：平成26年6月8日（日）

9:00～12:00

（受付時間 8:30～8:50）

集合場所：日光湯元ビジターセンター

コース：湯滝→戦場ヶ原→赤沼

募集 集：15名（先着順）／どなたでも

参加条件：当日に運動靴、レインウェア、
飲み物を持参できる方

参加費：500円

※8:50までに受付厳守でお願い致します。

※集合場所からスタート・ゴール地点まで

無料送迎バス有り。

お問合せ・お申込み

環境省 日光湯元ビジターセンター 管理者：一般財団法人自然公園財団日光支部

TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

電話・FAXにて次の事項を上記までお知らせ下さい。※平成26年4月1日（火）より受付開始

- ①イベント名 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤住所 ⑥電話番号（当日連絡がつくもの）⑦集合場所までの交通手段
- ⑧この催しを何でお知りになったか⑨前・後泊の有無

新たな自然体験を
求めている方必見!!

中禅寺湖でカヌー体験 & プチトレッキングツアーア

日 時：平成26年6月15日（日）と9月6日（土）の2回実施
10:00～16:30（受付開始10:00）

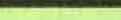
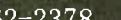
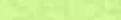
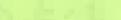
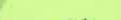
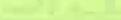
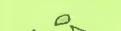
集合場所：中禅寺金谷ホテル敷地内 温泉施設前駐車場

募 集：大人10名（高校生以上）・先着順

参 加 費：¥9,500

主催：一般財団法人自然公園財団 日光支部
(環境省 日光湯元ビジターセンター)

共催：栃木カヤックセンター





たんけんたい

の森探検隊

第2弾

きのこの女王に会いに行こう！

奥日光の森には不思議な
きのこがたくさん！

今回の探検隊では、戦場ヶ原の南に
ある高山(たかやま)へ登って

幻の「きのこの女王」を
探します。

※必ず会えるとは限りません。



注意！ このイベントは登山を楽しみながら、

きのこの魅力を楽しむものです。

採集を目的とした“きのこ狩り”ではありません。

日 時 : 平成26年6月21日(土) 9:00~15:30 (受付開始8:30)

集合場所 : 赤沼駐車場

コース : 赤沼~高山(往復)

参加費 : 大人(高校生以上)1000円 小中学生 500円

定 員 : 15名(先着順)/小学生の参加は要保護者同伴

※お申込みいただいた方には、後日詳しい要項をお送りいたします。

お問合せ・お申込みは 環境省 日光湯元ビジターセンター

管理者 : 一般財団法人自然公園財団 日光支部 担当 : 緒方

TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

電話・FAXにて以下の事項を上記までお知らせ下さい。

【平成26年4月1日(火)より受付開始】

①イベント名 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤住所 ⑥電話番号(当日連絡がつくもの)

⑦集合場所までの交通手段 ⑧この催しを何でお知りになったか ⑨前後泊の有無

環境省

日光自然環境事務所より

【逆川橋へのシカ鳴き声発生装置の設置】

戦場ヶ原シカ侵入防止柵の開放部にあたる逆川橋において、シカが柵外から柵内へ頻繁に侵入していることが確認されたため、逆川橋に赤外線センサー式録音再生機を設置しました。この装置には、シカが警戒したときに発する鳴き声が録音しており、人の接近にも感知して、ある程度の音量で鳴き声が響き渡り、通行される方々にご迷惑をお掛けすることになるかも知れませんが、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

【日光国立公園 80 周年】

昭和 9 年に日光国立公園が誕生してから、平成 26 年は 80 周年の年です。日本で最初に指定された国立公園のひとつとして、これからもこの自然と人々のつながりをまもってゆきます。ひきつづき、みなさまのお力を借りながら、より一層の国立公園の魅力の発信に努めてゆきます。

【戦場ヶ原シカ侵入防止柵内シカ個体数調整事業の中止】

平成 25 年度の戦場ヶ原シカ侵入防止柵内に生息するシカを対象としたシカ個体数調整事業を中止しました。例年通りに平成 25 年度も実施する予定でしたが、2 月 14 日の大雪による影響で実施が困難だと判断しました。なお、平成 26 年度年も回復傾向にある柵内の植生保護のため、必要に応じて個体数調整事業を実施してまいりますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。